

事業番号

2022 - 文科 - 新22 - 0034

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート				( 文部科学省 )					
事業名	国立研究開発法人科学技術振興機構設備整備費補助			担当部局	科学技術・学術政策局			作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課			人材政策課長 橋爪 淳	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立研究開発法人科学技術振興機構法			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策(令和4年10月28日)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術振興機構(JST)が設置する設備の整備・充実を図るために要する経費を補助することにより、第6期科学技術・イノベーション基本計画に定める事業等の着実な実施を図り、もって科学技術の振興に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術振興機構に対して、以下の取組を実施するための経費を補助する。【定額補助】 ・探究・STEAM教育に資する科学コミュニケーション強化 ・光・量子、材料等の先端技術を支える基盤整備の加速								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		補正予算	-	-	-	1,121			
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	1,121			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	1,121			
	執行額	-	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
令和4年度第2次補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由						
	国立研究開発法人科学技術振興機構設備整備費補助金	1,121	-						
	計	1,121	-						
活動内容 (アクティビティ)	機構の業務を効果的・効率的に推進するため、施設・設備の改修、更新等を重点的かつ計画的に実施する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	設備の整備・充実を通じた事業の効果的・効率的な推進	設備の整備数	活動実績	件	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	国立研究開発法人科学技術振興機構の事業を実施する上で必要な設備整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
			計算式	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
	独立行政法人通則法で定められている年度評価において標準評価以上を目指す。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合(標準評価以上の項目数/評価項目数(6個))	成果実績	%	100	100	100	-	-
			目標値	%	100	100	100	-	-
			達成度	%	100	100	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国立研究開発法人科学技術振興機構の各年度における業務の実績に関する評価								

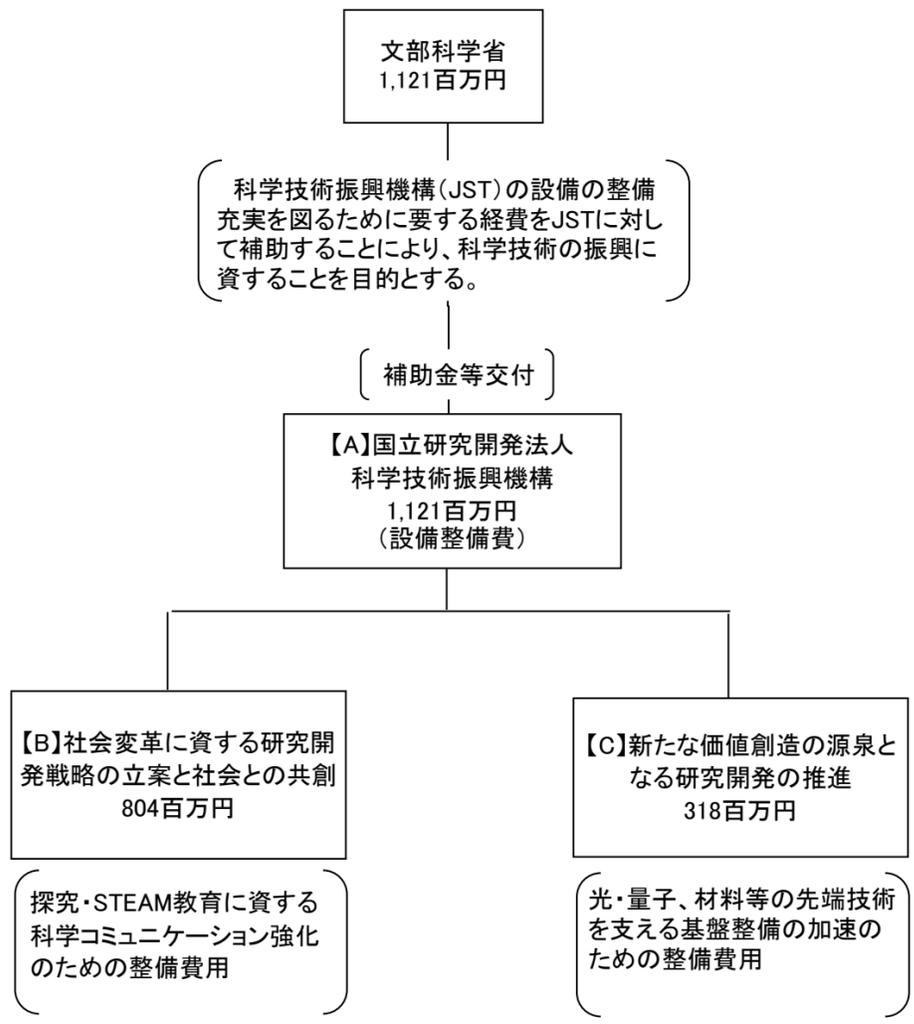
政策評価、再生計画との関係	政策評価	政策	政策目標7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策		
		施策	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_7-1.pdf https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_7-2.pdf	
				該当箇所	施策7-1目標2 施策7-2目標2
<b>事業所管部局による点検・改善</b>					
		項 目	評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	JSTは、第6期科学技術・イノベーション基本計画を実施する中核的機関として、ネットワーク研究所としての特徴を活かし、未来を共創する研究開発戦略の立案・提言、知の創造と経済・社会的価値への転換、未来共創の推進と未来を創る人材の育成に総合的に取り組んでおり、事業の目的は国民や社会ニーズを的確に反映している。	
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	-	
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	JSTは、第6期科学技術・イノベーション基本計画を実施する中核的機関として、ネットワーク研究所としての特徴を活かし、未来を共創する研究開発戦略の立案・提言、知の創造と経済・社会的価値への転換、未来共創の推進と未来を創る人材の育成に総合的に取り組んでおり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争を実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行っていく。	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	-		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	第6期科学技術・イノベーション基本計画の推進に向け、国として実施すべき取組であり、負担関係は妥当である。	
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	不必要な資金の流れはなく、合理的に支出される予定である。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	費目・使途は必要な設備の整備に限定される予定である。	
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	市場性が低く競争性が確保しにくい研究機器等については、文部科学省所管の8法人間で必要に応じて情報交換を行い、予定価格の適正化を図る予定である。		
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	JSTの実施する業務を効果的・効率的に推進するため整備・更新する設備に関するものであり、JSTへの設備整備費補助金の交付が最も効果的・効率的である。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	JSTは、主務省が示す中長期目標を達成するための中長期計画を策定の上、事業を推進し、評価結果を踏まえ整備された施設や成果物を十分に活用していく。	
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
		事業番号	事業名		
<b>備考</b>					

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度	0188		
平成26年度	0185		
平成27年度	0177		
平成28年度	0178		
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。  
 なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

現時点でのイメージ

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



費目・用途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立研究開発法人科学技術振興機構			B.社会変革に資する研究開発戦略の立案と社会との共創		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備整備費	設備備品等	1,121	設備整備費	探究・STEAM教育に資する科学コミュニケーション強化のための設備整備 等	804
計		1,121	計		804
C.新たな価値創造の源泉となる研究開発の推進			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備整備費	光・量子、材料等の先端技術を支える基盤整備の加速のための設備整備 等	318			
計		318	計		0

